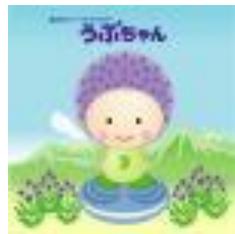


7月うぶやま天文台星空情報 1

月が火星、木星に接近



天空が広がるうぶやまの高原には、爽やかな夏風が吹き始めました。梅雨で、天候が不順でくっきり晴れた星空は望めませんが、それでもわずかの晴れ間に期待しましょう。

星空は東から夏の星座が昇り始め、春の星座は西へと沈み始めています。しし座、おとめ座などが次々に西に沈み、代わって、さそり座、こと座、わし座、はくちょう座が次々に東の空から昇ってきます。

7月の星空情報1は、7月1日～4日かけて、夜明け前に東の空で火星と木星が見えています。夜明け前の東の空で、火星の高度が次第に高くなってきました。7月上旬の明るさは1等級で、はっきりと赤い色合いが分かります。低空には木星も姿を現すようになつてきました。木星は-2等級という明るさで、高度が上がるにつれて、その存在感を際立たせています。日の出が近づくにつれて、白んでいく空に他の星が埋もれていく中でも、木星は最後まではっきり見えています。

2日に、細い月が火星に接近して見えます。3日には、月のすぐ近くにM45 プレアデス星団(スバル)が見えます。月は、4日にかけて木星を越えて北東よりの低空に移動していきます。この数日の光景を見ていると、地球の周りを公転し、西から東に向かって1日で大きく位置を変え、見える月の動きは惑星が基準となっている事がよく分かります。

また6日の新月に向かって日毎に欠けていく月の変化も楽しみましょう。未明から夜明け前の空を楽しむためには、少し早起きが必要になります。夜明け前のひととき、月と火星の競演を楽しみましょう。未明から早朝にかけてですので観察会は行いません。

【月が火星、木星に接近】

